

2019 年度 校内研究構想図

学校教育目標

ふるさとを大切にする、たくましい有田っ子の育成

研究主題

考えを伝え合い、広げ深めるための学習指導の工夫
～自ら学び続ける児童の育成を目指して～

研究の目標

自ら学ぼうとする児童の育成に向けて、児童が達成感や考えの深まりを感じられる工夫をし、国語科における効果的な学習活動のあり方を探る。

研究の仮説

「読むこと」の領域において、適切な言語活動を設定し、書く活動と話し合う活動を効果的に位置付けて学習活動を行えば、児童の学習意欲が高まり、自ら学ぼうとする態度を育てることができるであろう。

研究の内容

教師の授業力向上

考えを伝え合い、広げ深めるための学習指導の工夫

- ①【めあての設定】 ②【書く活動の工夫】
- ③【話し合い活動の活性化】 ④【ふり返りの視点】
- ⑤【有効な発問】

自分の考えを書く活動

児童の実態・具体的な書き方・必要な条件

対話的な学習活動

目的・進め方・話し合う意欲
交流・共有・整理

家庭や中学校との連携

学習習慣定着のための取組

- ①【有田っ子スタイル】 ②【朝読書】
- ③【国語タイム・算数タイム】 ④【ノーテレビノーゲームデー】
- ⑤【暗唱】 ⑥【おすすめの本】
- ⑦【家庭学習の充実】